

ネ オ アルファ
NEO α
シリーズ

自走用・リクライニング式

NEO-3 α
アルファ

介助用・リクライニング式

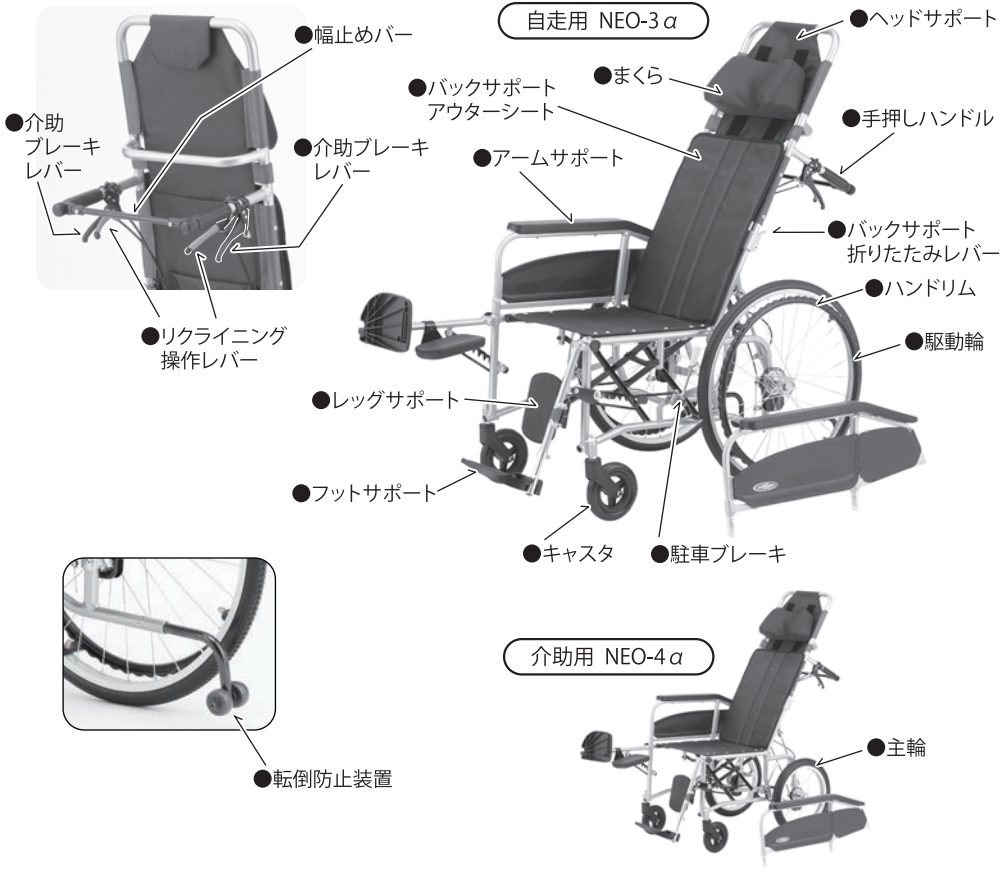
NEO-4 α
アルファ

取扱説明書

目次はP 15に
掲載しております

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。なお、保証書も掲載しておりますので、大切に保管してください。

各部の名称



出荷時は運送時の安全の関係でフットサポートが外側に回転して収納されている場合があります。フットサポートの戻し方につきましては、P 12をご覧ください。

NEO-3a 仕様・サイズ

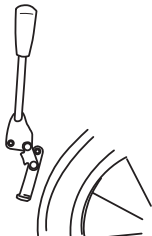
- 全長：116cm(116cm) ●全幅：63cm(35cm) ●全高：131cm(72cm)
- シート幅<アームサポートパイプ内々>：40cm ●シート奥行：40cm
- バックサポート高：50cm ●ヘッドサポート高：88cm
- 前座高：47cm ●後座高：45cm ●アームサポート高：24cm
- キャスト：6インチPU ●駆動輪：22インチノーパンクハイポリマータイヤ
- 重量：19.8kg ●リクライニング角度：約95～169°
- 耐荷重：100kg(積載物を含む)

NEO-4a 仕様・サイズ

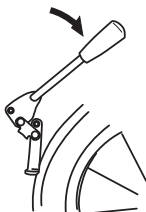
- 全長：116cm(116cm) ●全幅：58cm(30cm) ●全高：131cm(72cm)
- シート幅<アームサポートパイプ内々>：40cm ●シート奥行：40cm
- バックサポート高：50cm ●ヘッドサポート高：88cm
- 前座高：47cm ●後座高：45cm ●アームサポート高：24cm
- キャスト：6インチPU ●主輪：16インチノーパンクハイポリマータイヤ
- 重量：19.2kg ●リクライニング角度：約95～169°
- 耐荷重：100kg(積載物を含む)

駐車ブレーキのかけかた

解除時



駐車



- レバー先端のノブを手で引くと駐車ブレーキがかかります。レバーを戻した状態が解除です。



警告

- 駐車時には必ず左右両方の駐車ブレーキを確実にかけてください。
- しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。
- 坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。



注意

- ブレーキレバーに体重をあずけたり、足でレバー操作するなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。

転倒防止装置について

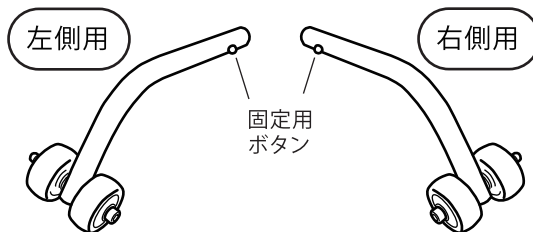


転倒防止装置の取付けや操作は、車いすの駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。作業中に車輪が回転すると、スポークで手指のケガをするおそれがあります。

■取りつけた

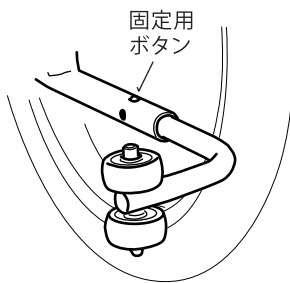
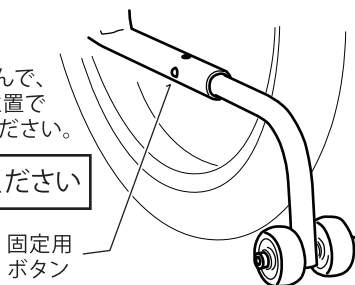
転倒防止装置は右側用と左側用があります。

パイプから固定用ボタンが出てい
る側が車いすの内側を向きます。



転倒防止装置を、ベースパイプに後方から差し込んで、固定用ボタンがベースパイプ側面の穴から出る位置で固定します。右側用・左側用とも確実に取付けてください。

通常はこの状態で使用してください



段差越えなどで一時的に車いすの前輪を上げるとき

転倒防止装置を、固定用ボタンがベースパイプ上面の穴から出る位置で固定します。



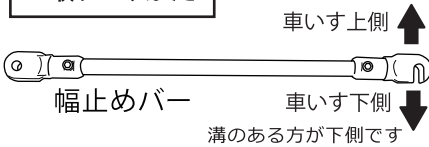
転倒防止装置が横を向いている状態では車いすの転倒の危険が高まります。段差越え等は介助者が車いすをしっかりと支えながら慎重に行ってください。段差越え等がすんだら、すぐに車いすの駐車ブレーキをかけて、転倒防止装置を通常使用時(上図)の状態に戻してください。



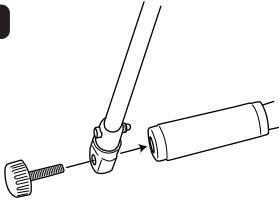
- 転倒防止装置をティッピングレバーとして使用しないでください。(転倒防止装置を足で踏まないでください。)
- 転倒防止装置を持って車いすを持ち上げないでください。
- 製品の使用前には、転倒防止装置が左右とも確実に固定されていて、抜けたり回ったりしないことを確認してください。
- 製品を使用の際は、かならず左右両方に転倒防止装置を設置してください。
- 転倒防止装置は転倒をしにくくする効果がありますが、転倒を完全に防止するものではありませんのでご注意ください。

幅止めバーについて

■取り付けかた

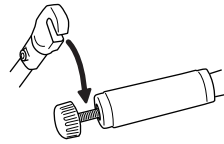


1



左側の手押しハンドルの後端の穴に
ノブボルトで幅止めバーを取付けます。

2



右側の手押しハンドルの後端の穴に
ノブボルトを取付けて、幅止めバーの
溝をしっかりとはめ込みます。

3



左右のノブボルトをしっかりと締めて
幅止めバーを固定します。

車いすを折りたたむために幅止めバーを
はずす場合は、手押しハンドル後端の
ノブボルトをゆるめてください。

⚠ 幅止めバーやノブボルトを
なくさないように注意してください。



右側のみはずした状態



完全にはずした状態

⚠ 注意 警告

- 幅止めバーを持って車いすを操作したり、車いすを持ち上げたりしないでください。幅止めバーがはずれて、車いす及び搭乗者が転倒や落下する事故のおそれがあります。
- 製品の使用前には、幅止めバーが手押しハンドル左右のノブボルトでしっかりと固定されていて、はずれないことを確認してください。
- 製品を使用の際は、かならず幅止めバーを取付けてください。
- バックサポートを折りたたむ際は、幅止めバーを完全にはずしてください。幅止めバーを装着したままバックサポートを折りたたむと、製品の破損のおそれがあります。

バックサポートアウターシートの外しかた・取付けかた



外しかた

バックサポートアウターシートは面ファスナーで貼り付けられています。面ファスナーを外して、バックサポートアウターシートをヘッドサポート及びバックサポートから外することができます。

取付け方

バックサポートアウターシートの裏側とヘッドサポート、バックサポートの面ファスナーを貼り合わせてしっかりと固定してください。



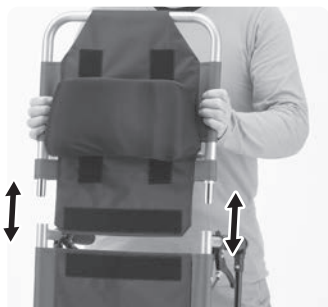
ヘッドサポートの外しかた・取付けかた

- ヘッドサポートの取り外しは、バックサポートアウターシートを外してから行います。
(バックサポートアウターシートの外し方につきましては、P 5 をご覧ください)



外しかた

ヘッドサポートとバックサポートを貼り合わせている面ファスナーを外してからヘッドサポートを上方に引き抜くと、ヘッドサポートをバックサポートパイプから取り外すことができます。



取付けかた

ヘッドサポートを、バックサポートパイプに奥までしっかりと差し込み、ヘッドサポートとバックサポートの面ファスナーを貼り合わせてしっかりと固定してください。

(面ファスナーでしっかりと固定され、ヘッドサポートを引き上げても抜けないことを確認してください。)



警告

NEO-3α・NEO-4αに搭乗の際は、必ずヘッドサポートを正しく装着してください。

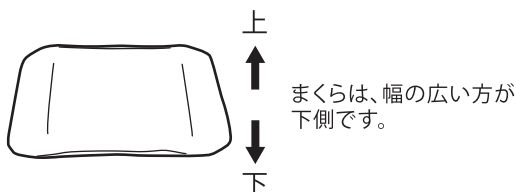
ヘッドサポートをはずして製品を使用しないでください。

ヘッドサポートがはずれた状態での乗車は、搭乗者の身体や製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。

まくらの取付けかた



まくらは面ファスナーでヘッドサポートに貼り付けて固定します。高さは搭乗者の身体状況に合わせて調整してください。



車いすのひろげかた

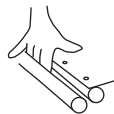
- 1** 手押しハンドルを持って軽く左右にひろげてください。



- 2** 片方の手押しハンドルを持ち上げるように反対側の座面下のパイプ部を下の方へ押し下げます。



注意
警告



押し下げの際、座面パイプの下側や横側に手や指を入れないでください。危険です。

3



ヘッドサポートを取付けます。
(手順は P 6 を参照してください。)

4



バックサポート
アウターシートを
取付けます。
(手順は P 5 を
参照してくだ
さい。)

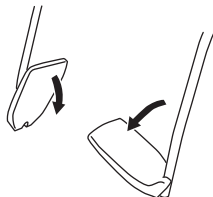
※しっかりと固定され、ヘッドサポートフレームを引き上げても抜けないことを確認してください。

5



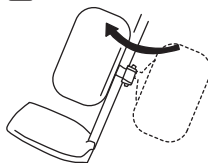
幅止めバーを取付けます。
(手順は P 4 を参照してください。)

6



フットサポートプレートを下方へ回転させるようにセットします。
使用者が車いすに座ってから行うのが一般的です。

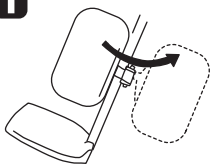
7



レッグサポートパッドをフレームの外側から内側へ回転させてセットします。

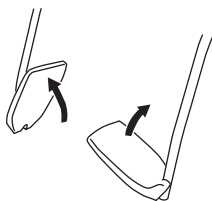
車いすの折りたたみかた

1



レッグサポートパッドをフレームの外側へ回転させて収納します。

2



フットサポートプレートを上方向へ回転させて収納します。

3



幅止めバーをはずして、車いすの幅の固定を解除します。
(手順は P 4 を参照してください。)

4



バックサポートアウターシートをはずします。
(手順は P 5 を参照してください。)

5



ヘッドサポートフレームをはずします。
(手順は P 6 を参照してください。)

6



座面シートの、前後中央部を持ち上げます。

7



手押しハンドルを持って、左右から押し縮めるように折たたんでください。

バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた

折りたたみかた

1

幅止めバーとヘッドサポートを完全にはずしてください。
(手順はP 4～6を参照してください。)

⚠ 幅止めバーやヘッドサポートを装着したままバックサポートを折りたたむと、製品の破損のおそれがあります。

2



3



手押しハンドルを握り、一方の手でバックサポート折りたたみレバーを下に押しながら、手押しハンドルを手前に引くように少し折り曲げます。反対側も同様の手順で少し折り曲げてください。続いて、左右同時に折りたたみます。

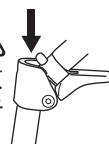
固定のしかた



手押しハンドルを握り、上方へ引き起こすように持ち上げてください。左右のスライドピンが「カチッ」とロックされたことを必ず確認してください。



車いすに乗る際は、完全にバックサポートが固定されている事を確認してから、座ってください。



● 矢印の部分に手や指を置かないでください。
● 矢印の部分にバックサポートシートをはさみこまないように注意してください。

アームサポートの外しかた・取付かた



ノブボルト

外しかた

座シートサイドのフレームの前方にあるノブボルトをゆるめると、アームサポートをフレームごと上方に引き抜いてははずすことができます。

取付かた

アームサポートを座シートサイドのフレームの前後にある穴にしっかりと差し込んで、ノブボルトをしめて固定します。



前後・左右を正しく装着してください。



注意
警告

アームサポートを取付けない状態や、アームサポートの取付けが不完全な状態で、車いすを使用しないでください。搭乗者の落下による事故やけが、製品の破損のおそれがあります。

駆動輪の操作のしかた（NEO-3αのみ）



- 乗車者がハンドリムを握り、ハンドリムを前に押ししたり、後ろへ引いたりすることで、前進又は後退します。
- 走行中にブレーキをかけるには、ハンドリムを握って駆動輪を止めます。



**注意
警告**

タイヤを握って漕ぐと、ブレーキやフレーム、アームサポート等の間で指を挟むことがありますので注意してください。

リクライニングをして、前方や足もとが確認できない状態での自走操作は大変危険です。そのような状態では、搭乗者自身による自走操作はしないでください。

リクライニング・介助ブレーキの操作方法

●介助ブレーキレバー



●介助ブレーキレバー

●リクライニング操作レバー

■リクライニングのしかた

左右のリクライニング操作レバーを手押しハンドルのグリップと一緒に握り後方（もしくは前方）へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止まります。（リクライニング操作は、介助者が胸や肩、腕で車いすをしっかりと支えながらゆっくりと行ってください。）



**注意
警告**

リクライニング動作は必ず左右の駐車ブレーキをかけて行ってください。

リクライニング角度を後傾から起こす際には、角度を一度に大きく戻さず、少しずつ起こし、搭乗者の様子を確認しながら起こしてください。

急に大きく角度を起こすと、搭乗者の血圧が低下し、体調に悪影響を及ぼす可能性があります。



後傾リクライニング
（最大約169°）



バックサポートを
最も起こした状態

■介助ブレーキ（制動ブレーキ）のかけかた

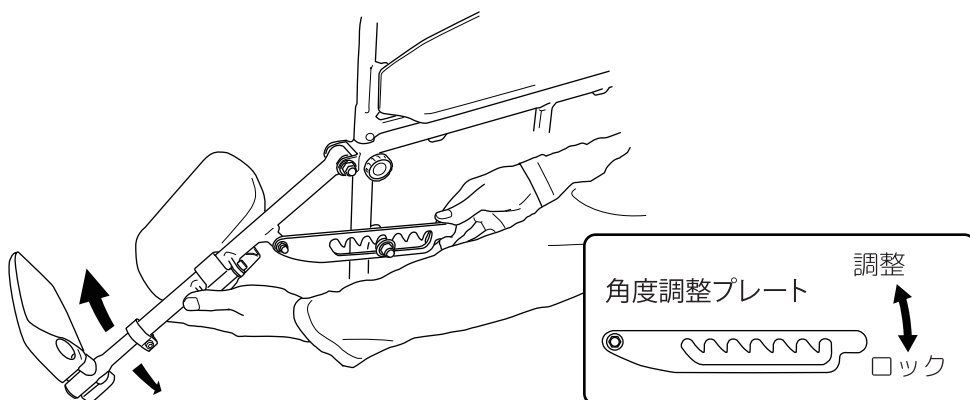
左右の介助ブレーキレバーを同時に握ると介助ブレーキがかかります。



禁止

介助ブレーキは、駐車ブレーキとして使用することはできません。駐車目的では使用しないでください。

フット・レッグサポートの挙上のしかた・下げかた

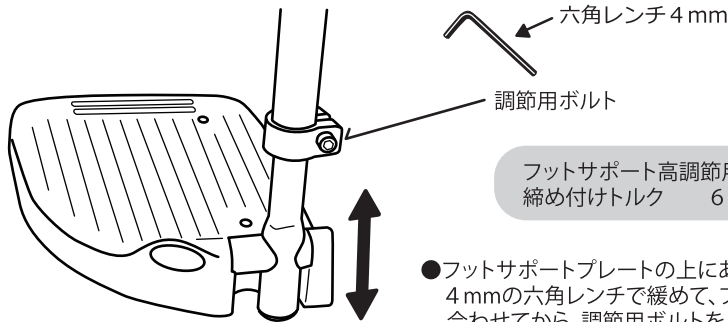


レッグパイプを片方の手でしっかりと支えながら、もう片方の手で角度調整プレートを上げて、ロックを解除します。そのままレッグパイプの角度を任意に調整し、角度調整プレートをしっかりとおろして、レッグパイプの角度を固定します。



- フット・レッグサポートの角度調整は、必ず左右の駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 角度の調整中に各部に手指や身体をはさんでケガをしないように注意してください。
- 調整後は角度調整プレートがしっかりと下りていて、フット・レッグサポートが固定されていることを確認してください。

フットサポートの高さの調節のしかた

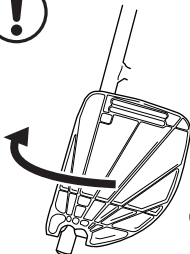


- フットサポートプレートの上にある、調節用ボルトを4 mmの六角レンチで緩めて、フットサポートの高さを合わせてから、調節用ボルトをしっかり締め付けます。(極端に強く締めすぎると、締め付けクランプ部品が破損する場合がありますのでご注意ください。)



注意

- 調節後はしっかりと調節用ボルトを締めて固定してからご使用ください。(極端に強く締めすぎると、締め付けクランプが破損する場合がありますのでご注意ください。)
- フットサポートを下げすぎると、段差やスロープ等でつまずくことがあります。フットサポートの最下端部を、地面から5 cm以上あけてください。
- 調節用ボルトが完全に緩んでいない状態で無理にフットサポートを動かさないでください。ポストにキズがつき、調節がしにくくなる場合があります。
- フットサポートに腰掛けたり、登ったりしないでください。
- 使用中にフットサポートの裏側にキズがつき、鋭利な状態になっていることがあります。車いすへの乗り降りの際には、跳ね上げたフットサポートの裏側で、搭乗者の脚部や介助者の手のケガをしないよう、十分にご注意ください。



出荷時

出荷時はフットサポートを、外側後方に回転して収納してある場合があります。上記説明の通りに調節用ボルトを緩めて、フットサポートプレートを前方に回転させ、高さを調節してから、調節用ボルトをしっかり閉めて固定してください。

使用前点検(必ず行ってください)

- 介助ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- リクライニング操作が正常にできるかどうかご確認ください。
- 介助ブレーキのワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
- リクライニング操作のワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
- ネジ・ボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
※特に、駐車ブレーキの取付け部や、車輪軸部は確実に確認してください。
- シート・ベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
- 駆動輪・主輪タイヤの溝がなくなりかけていないか、タイヤに亀裂がないか、ご確認ください。
- 車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
- ヘッドサポート・アームサポート・転倒防止装置が正しく装着されているかご確認ください。
- 各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。



警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

- ボルトの緩み、フレームのガタなど目視や簡単に手で触って分かるようなチェックは、定期的に行ってください。
- 各部のメンテナンス(調節・補修・修理・部品交換等)はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- シートが汚れた場合は中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取ってください。汚れを取ったあとは、完全に乾燥させてからご使用ください。生乾ぎでの使用はカビや異臭の原因となります。
- 屋内の湿気が少ない場所に保管してください。雨に濡れる可能性のある場所や、湿気の高いところには保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けてください。



ウレタン素材には寿命があります。

- クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度にかかわらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
- 特に通気の悪い場所での長期間の保管は避けてください。
- 割れやヒビ、崩れ等の症状が発生した場合は使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。



キャスタ輪



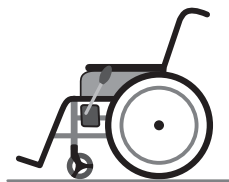
ノーパンク
(ハイポリマー)
タイヤ

アームサポート
パッド など



床材へのゴム汚染についてのご注意

- 塩化ビニール製のタイルやクッションフロア等は、ゴム製品が接することで、床材の成分とゴムの化学反応により、ゴム汚染とよばれる床の変色が発生する場合があります。
- ゴム製キャスタ車輪やゴム製後輪タイヤを装着している車いすを塩化ビニール製の床で使用する場合、床に直接ゴム部分が触れないように、カーペットを敷くなどの対策をとってください。
- 床材へのゴム汚染の発生は一般的な事象であり、製品の瑕疵(かし)に起因するものではありません。



キャスタ車輪 (ゴム製) 後輪タイヤ (ゴム製)



注意・警告

主に製品を使用する前にご注意をいただくことや、メンテナンス等についての注意

- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる可能性があります。定期的に取扱業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- フレームの折れ、曲がり、シート・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。(使用を中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。)
- 水にぬれた場合、そのままにしておくことで製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。水中での使用はしないでください。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- 改造や分解はしないでください。
- 当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。

主に製品を使用中・走行中にご注意をいただくこと

- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- 身体寸法や身体の状況が車いすに合わない場合は使用をしないでください。からだに合わない状況で製品を使用すると、製品の故障や事故、身体への悪影響につながるおそれがあります。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意してください。走行中、各部に凹凸や障害物が引っかかると、転倒や製品の破損のおそれがあります。
- 倒れかかるとような座り方や、身を乗り出すような座り方はしないでください。バランスをくずして転倒することがあります。
- 乗車中に大きな前かがみの姿勢をとらないでください。(例: 足下や前方にあるものを触ろうとしたり、拾おうとして、前かがみの姿勢にならないようご注意ください)。バランスをくずして車いす及び乗車者が前方に転倒するおそれがあります。
- 悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
- エスカレーター及び動く歩道での使用はしないでください。転落、転倒による事故のおそれがあります。
- 公共交通機関で使用する際は、係員の指示に従い、安全に搭乗してください。
- 踏切りを横断の際は、車輪・キャスト輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまる危険があります。
- 手押しハンドルや幅止めバー、各部フレームなどに手荷物等を掛けしないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒するおそれがあります。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故のおそれがあります。
- 使用中にフットサポートの裏側にキズがつき、鋭利な状態になっていることがあります。車いすへの乗り降りの際には、跳ね上げたフットサポートの裏側で、搭乗者の脚部や介助者の手をケガしないよう、十分にご注意ください。
- 坂道での駐車はしないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- 乗車者・介助者とも、車いす使用時には靴をはいてください。はだしで車いすを使用しないでください。思わぬケガのおそれがあります。

その他にご注意をいただくこと

- フレームの座面下側や、車輪、各部の隙間等に手を入れしないでください。各部が動いたり、でっぱりに触れたりすると、ケガのおそれがあります。
- 持ち運びの際は、メインフレーム以外を持たないでください。(アームサポートやフット・レッグサポート、手押しハンドル、幅止めバー、ヘッドサポート、シート等を持って運ぶと、製品の破損や事故につながるおそれがあります。)
- 本書記載以外の使用はしないでください。
- 踏台や脚立・歩行器のかわりに使用しないでください。
- 子供に操作をさせないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- 体重が製品の耐荷重を超える方の使用はしないでください。
- 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分にご注意ください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱いをしたり、落としたり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損することがあります。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。

目次

- P 1 … 各部の名称
- P 2 … NEO-3 α 仕様・サイズ
NEO-4 α 仕様・サイズ
駐車ブレーキのかけかた
- P 3 … 転倒防止装置について
- P 4 … 幅止めバーについて
- P 5 … バックサポートアウターシートの外しかた・取付けかた
- P 6 … ヘッドサポートの外しかた・取付けかた
まくらの取付けかた
- P 7 … 車いすのひろげかた
- P 8 … 車いすの折りたたみかた
- P 9 … バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた
アームサポートの外しかた・取付けかた
- P 10 … 駆動輪の操作のしかた (NEO-3 α のみ)
リクライニング・介助ブレーキの操作方法
- P 11 … フット・レッグサポートの挙上のしかた・下げかた
- P 12 … フットサポートの高さの調節のしかた
- P 13 … 使用前点検 (必ず行ってください)
メンテナンス・保管方法
ウレタン素材には寿命があります
床材へのゴム汚染についてのご注意
- P 14 … 注意・警告
- P 15 … 目次
- P 16 … 保証規定・品質保証書

保証規定

I. 保証の範囲

- 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
- 保証期間はご購入後1年間です。
- 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - 取扱い過誤による故障。
 - 製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含みます。
 - 天災、地変等による故障ならびに損傷。
 - 消耗部品、タイヤなど。
 - 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。
- 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限りです。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はご購入の販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

品質保証書	
本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りご購入日より「1年間」無償にて修理いたします。	
機種	
お客様 ご住所 (フリガナ) ご氏名	T TEL
お買い上げ 日	保 有効 年 日 まで
販売店	
製造元	日進医療器株式会社 〒481-8681 愛知県北名古屋市中村権現3 5 番地の 2 TEL <0568>21-0635(代) FAX <0568>23-2787

日進医療器株式会社

本 社 〒481-8681 愛知県北名古屋市中村権現3 5 番地の 2
TEL <0568>21-0635(代) FAX <0568>23-2787
東京営業所 〒112-0002 東京都文京区千石2 丁目 2 - 1
TEL <03>3943-5200(代) FAX <03>3943-5222
大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6 - 1 6 - 1 0
TEL <06>6323-8265(代) FAX <06>6326-2554
九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2 丁目 3 - 8
TEL <092>513-5036(代) FAX <092>513-5038

製品の廃棄方法

ご不用となった製品を処分される場合の廃棄方法につきましては、お住まいの自治体のルールに従ってください。